

盲導犬があやめ野小にやってきた

平成23年1月27日(木)

北海道盲導犬協会からゲストティーチャーを招いての総合的な学習の時間「わたしたちにできること」の学習でした。盲導犬協会から講師の方とサスケくん(オス 6さい)を招いての授業でした。現場の人の声や盲導犬体験を通して、1頭の盲導犬を育てるために多くの人の苦労があること、盲導犬が果たす役割、一人一人が今できることなどを学びま



初めて盲導犬を見る子どももいてみんなワクワクドキドキです。(^^)



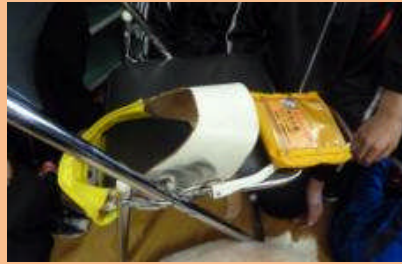
盲導犬は、ユーザーさんが何かをしているときには黙って待つのも仕事だそうです。決してサボっているわけではありません。^^;



体重は約30kgです。クラスの先頭の男子と比べてもひげはとらないくらいの大きさです。(*_*)



ふだんは、毛が落ちたりしないように服を着ているそうです。ファッションではありません。(*_*)



ハーネスというユーザーと盲導犬をつなぐ道具です。これを付けているときは、仕事なので、触ったり声をかけたりしてはいけません。(@_@)



休憩時間です。嵐も顔負け(!?)の人気ぶりでした。女子に囲まれちょっとうれしそう?(^o^)



いよいよ体験開始です。初めてなので、ちょっと不安です。^^;



廊下の障害物も上手によけて通ります。!(^^)!



階段の前は、必ず止まってユーザーさんに危険を知らせます。(^^)



曲がり角では、立ち止まって知らせてくれます。「サスケ！OK！」の言葉があるまでは、動きません。(^^)



段差があるときもしっかり止まります。(^^)



「サスケ！いす！」と言うと椅子の所まで誘導してくれ顔で椅子の場所を教えてください。(^^)

私は、目の悪い方はお手伝いすると逆に「危ないんじゃないか」と思っていたけど、困っている人がいたらお手伝いをしていいとわかりました。



盲導犬が大きくてびっくりしました。吠えない犬は初めて見ました。でも、寝ることも仕事だと聞いてちょっとうらやましいと思いました。



目隠しをして歩くとこわくてたまらなかったけど、サスケくんが私の歩くペースに合わせてゆっくり歩いてくれたので安心しました。ユーザーにとって盲導犬は、誰よりも信頼できるかけがえのない存在なんだと思いました。



私は前まで当たり前のように暮らしていたけど、私たちは幸せに暮らしていることがわかりました。今まで考えもなかったことや興味がなかったことなどがたくさんわかったような気がします。



盲導犬を待ち望んでいる人が7000人以上もいて、盲導犬は日本には約1000頭しかいなくて少ないんだなと思いました。



体験を通して目の悪い人は、大変なんだなあと思いました。これから、盲導犬を連れていたり、白杖歩行の方を見かけて迷っていたり困っていたら、声をかけてお手伝いすることがあったら、お手伝いしようと思いました。



アイマスクをすると目の前が真っ暗になって少しこわかったです。しかも障害物があつてぶつかると思っていたけど、サスケくんがきちんと避けてくれたのでとても安心して歩けました。声をかければその通り動いてくれるので、とても賢いなあと思いました。



私は、盲導犬から生まれた子どもは全員ちゃんと盲導犬になれると思っていたけど、健康だったり吠えなかったり、人間好きじゃないとだめとか厳しいチェックがあると知りました。できていない犬もちゃんと違う人に引き取られて育ててくれるとわかってちょっとほっとしました。



盲導犬は、生まれてから1年間パピーウォーカーに預けられそだてられること、犬1頭育てるのに300万円もかかることなどがわかりました。街で盲導犬ユーザーの人を見かけたらお手伝いしようと思いました。



盲導犬についてお知りになりたい方、興味のある方はぜひ

<http://www.h-guidedog.org/>

までどうぞとのことでした。